

むらかみ し じょうかんせき
「村上氏城館跡」 県指定（史跡）

所在地：坂城町及び千曲市 所有者：坂城町・満泉寺ほか 指定：昭和49年1月17日

1. 葛尾城跡

坂城町の北端、千曲市との境の標高 805mの葛尾山頂にある山城です。本郭は中央の最高所を占め、東西 29m、南北 12mのほぼ長方形をなし、東北の一部に土塁状の高まりがある以外は平坦です。本郭の西南方に深い空壕をへだてて二の郭、更に空壕をへだてて三の郭が並び、その下方西南方に箕状の小段郭が10数個連続しています。

本郭の東北に深い堀切と腰郭をへだてて脇郭があり、更に一郭と小郭が連なっています。

本城の築城の年代は明らかではありませんが、南北朝時代頃、村上氏が坂城に移居して以来、天文22年（1553）村上義清が没落するまで、代々使用した山城です。

2. 館跡

葛尾城の南山麓、村上氏の菩提寺満泉寺とその周辺を含めた南北 160m、東西 170mのほぼ方形をなす地域が村上氏代々の居館跡で、この周囲には壕の形跡を残しています。満泉寺地が館の中心で、内堀内にあたり、館の外回りにも堀をめぐらした回字形の館であったと考えられています。坂城神社は乾（北西）の方角にあたり、良（東北）の方角に天福寺（村上氏の祈願寺・天台宗、現曹洞宗大英寺）、巽（南東）方向に蔵屋敷の地名を残し、館跡の北西隅に厩屋敷、東北に栗田（村上氏の支族）、南方に下長屋の地名を残しています。西方の中ほどに、お堀橋という所もあります。

